

平成18年度

水田農業構造改革対策

事業実績書

福井県水田農業推進協議会

はじめに

平成16年度から平成18年度まで水田農業構造改革対策に取り組んできましたが、米の生産調整は、転作面積の配分から米の生産目標数量の配分に変更されたほか、転作奨励金が水田農業構造改革交付金に変わり、その助成体系は、地域の水田農業ビジョンに基づき、地域協議会が決めた助成単価で交付することとなり、地域の創意工夫が活かされた対策となっています。

ところで、県下の地域協議会は、当初32でスタートしたものの、市町村合併に伴い、平成19年3月末現在で26に統合されました。それらが描く水田農業ビジョンは、地域の特色を反映した豊かな農業であり、それを担う人達も多種多様で、かつ地域水田農業の目標を明確にしたものです。その目標達成に向け、関係機関団体が英知と総力を挙げて積極的に取り組んで来ました。

その結果、全国の水田農業ビジョン大賞にも応募できる成果を収めることができるなど、その成果は序々に上がっており、平成19年度から新たな対策に移行しますが、これまでの経験を活かし、今後とも、着実な事業展開が望まれます。

この資料は、こうした状況のもと各地域協議会が平成18年度に取り組んだ本対策の実績をまとめたものです。今後の水田農業構造改革対策と米の需給対策の参考に供していただければ幸いです。

最後に、この実績書の作成に当たり、市町及び地域協議会から資料の提供をいただいたことに深く感謝申し上げます。

平成19年3月

福井県水田農業推進協議会

目 次

1	平成19年産米の市町別の需要量に関する情報の設定方針	1
2	平成19年産米の市町別の需要量に関する情報	2
3	平成18年産米の数量調整の取組結果	3
4	水田の利用状況	5
5	特例作物の内訳	11
6	特別調整促進加算事業	13
7	周年作状況	15
8	周年作における野菜・花きの内訳	17
9	周年作の年次変化	19
10	水田農業構造改革交付金等の交付状況	23
11	平成18年度水田農業ビジョン大賞福井賞の概要	31

平成19年産米の市町別の需要量に関する情報の設定方針

1 基本的考え方

農業の構造改革が加速化する中、福井県産米の需要実績を拡大するとともに需給調整を確実に実施するため、営農の継続性を確保するための前年の配分実績を基本に、品質の良い米づくり、効率的かつ安定的な農業経営の育成を推進する観点から、傾斜配分を拡大する。

このことにより、農業者の米の品質向上や稲作経営への意識を高めるとともに、消費者・実需者へのアピールを図る。

2 具体的な算定方法

(1) 基本部分（全数量の88%）

営農の継続性を確保し、米の需給調整を確実に実施する観点から次の要素で算定する。

①平成18年産の生産目標数量配分基本部分（実績部分）

(2) 傾斜部分（12%）

品質の良い米づくりの推進と効率的かつ安定的な農業経営の育成を促進する観点から次の要素で算定する。

①一等米比率：7%

【一等米比率（5中3（平成13～17年の最高最低を除く3ヶ年平均））
×（1）の基本部分の数量】のシェア

②集落営農組織・認定農業者の経営面積：5%

【集落営農組織・認定農業者の経営面積】のシェア

3 今後の方向

品質の良い米づくりや19年度から導入される品目横断的経営安定対策の対象となる集落営農組織・認定農業者の育成を推進していくとともに、福井県産米の需要実績を高める観点から検討していく。

平成１９年産米の市町別の需要量に関する情報

(単位:トン)

市 町 名	１９年産米需要量情報
福井市	29,489
敦賀市	2,758
小浜市	4,641
大野市	15,313
勝山市	6,187
鯖江市	7,818
あわら市	10,033
越前市	12,781
坂井市	24,286
永平寺町	3,371
池田町	1,390
南越前町	3,309
越前町	4,441
美浜町	2,607
高浜町	1,150
おおい町	2,220
若狭町	6,156
合 計	137,950

平成18年産米の数量調整の取組結果

市町村名	市町村の 生産確定 数 量 トン	各市町の 農業者の 作付確定 面積の計 ha	配分対象 農業者数 人	水稻生産 実施計画 書提出農 業者数 人	各市町の水稲生産実施計画書を提出 している農業者の取組(結果)			
					生産確定 数量の計 トン	作付確定 面積の計 ① ha	主食用等水 稲作付面積 の計② ha	差引面積 ①－② ha
福井市	29,955.62	5,827	11,214	11,214	29,955.62	5,827	5,722	105
敦賀市	2,789	586	1,779	1,779	2,789	586	585	1
小浜市	4,675.48	988	2,012	2,012	4,675.48	988	971	17
大野市	15,496.28	3,032	2,702	2,702	15,496.28	3,032	3,029	3
勝山市	6,204	1,279	2,050	2,050	6,204	1,279	1,257	22
鯖江市	7,977	1,557	2,128	2,120	7,322	1,431	1,402	29
あわら市	10,124.28	1,896	1,686	1,686	10,124.28	1,896	1,890	6
越前市	13,015.76	2,592	4,291	4,291	13,015.76	2,592	2,529	63
坂井市	24,374.58	4,598	4,438	4,438	24,374.58	4,598	4,552	46
永平寺町	3,460.50	717	1,322	1,322	3,460.50	717	690	27
池田町	1,390	331	695	695	1,390	331	328	3
南越前町	3,323.08	720	1,186	1,186	3,323.08	720	719	1
越前町	4,498.37	919	1,946	1,946	4,498.37	919	917	2
美浜町	2,662.50	555	1,110	1,110	2,662.50	555	554	1
高浜町	1,153.39	249	784	784	1,153.39	249	249	0
おおい町	2,230.27	475	1,131	1,131	2,230.27	475	474	1
若狭町	6,224.44	1,258	1,907	1,907	6,224.44	1,258	1,256	2
合 計	139,554.55	27,579	42,381	42,373	138,899.55	27,453	27,124	329

福井県における水田利用状況

1 水稻の状況

平成17年産米の福井県の生産目標数量は141,240t（全国は851万t）で、平成18年産は139,555t（全国は833万t）で約1%にあたる1,685tの減少があった。

また、加工用米については、平成17年産が384haで平成18年産が571haと187ha増加し、福井県における水稻作付面積は合計で330ha減少している。

平成17年産米については、約400haで水稻作付けが可能であったが、平成18年産米については、その差が約320haにまで減少した。

2 大麦・大豆等の産地づくり基幹作物の状況

平成18年度の大麦作付面積は、平成17年度に比べ、107ha増加し、4,044haとなった。これは、水稻の作付けが減少したことが大きな要因として挙げられる。

大豆作付面積は、単作大豆で平成17年度作付けより10ha減少の107haとなったが、大麦跡の周年作においては、8.3ha増加し、1,071haになったものの、大きな変動は見られなかった。

そば作付面積は、単作そばで、平成17年度作付けより1ha減少し、365haとなったが、大麦跡そばの周年作では、平成17年度に比べ、184ha増加している。その要因としては、周年作の体系が浸透し、経営の発展を目指す経営体が増加してきているものと考えられる。

大麦・大豆ともに平成19年から始まる品目横断的経営安定対策の対象作物であるため、対象となる認定農業者や営農組織の育成と作付面積の確保は、今後も大きな課題である。

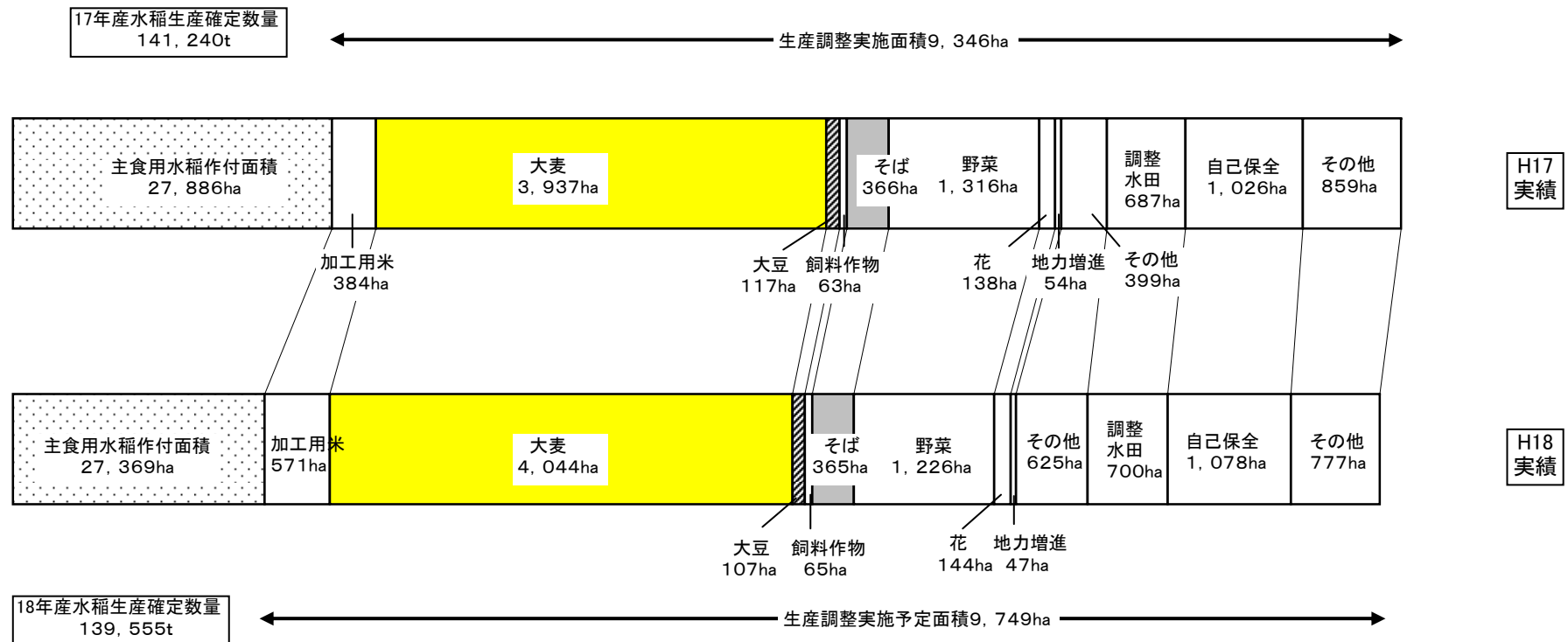
3 特例作物の状況

野菜は、平成17年度に比べ、90ha減少の1,226haに、花きは、6ha増加し、144haとなったものの、大きな変動はなかった。

4 調整水田・自己保全管理の状況

調整水田は平成17年度に比べて、13ha増加の700haに、自己保全管理は52ha増加の1,078haになり、大きな変動はなかった。

平成18年度の水田利用状況(平成19年1月31日現在)



水田利用状況の経年変化

(ha)

	平成 1 6 年度	平成 1 7 年度	平成 1 8 年度
水田面積	37,349.9	37,231.9	37,120.7
作物作付面積	34,902.9	34,660.3	34,562.8
水稲（主食用）	27,698.1	27,886.2	27,368.6
うち直播栽培面積	1,550.4	2,068.4	2,381.0
うち有機栽培面積	102.8	108.0	168.3
水稲（加工用）	248.9	384.0	570.8
大麦	4,428.7	3,937.0	4,044.4
大豆	120.4	116.7	107.2
そば	409.9	365.9	364.5
飼料作物	72.4	63.1	65.0
野菜(A)	1,368.1	1,316.1	1,226.4
花き(B)	134.9	138.4	144.0
果樹(C)			236.4
地力増進	89.1	53.5	47.2
その他	332.4	399.4	388.3
作物不作付水田面積	2,434.0	2,571.6	2,554.9
調整水田	720.9	687.3	700.1
自己保全管理	981.6	1,025.8	1,078.2
その他	744.4	858.5	776.6

面積は、生産調整に係り市町が把握している数値（市町調べ）
但し、周年作面積は含まない。

作物作付面積(平成19年1月31日現在)

(ha)

市町名	水田面積	作物作付面積	水稻 (主食用)	うち直播栽 培面積	うち有機栽 培面積	水稻 (加工用)	大麦	大豆	そば	飼料作物
福井市	7,775.2	7,207.7	5,722.0	526.8	18.0	151.8	871.2	5.5	47.9	4.2
敦賀市	804.5	707.0	584.9	27.7	－	9.5	5.7	1.3	1.1	0.3
小浜市	1,390.7	1,138.0	970.7	140.7	5.7	25.6	56.2	1.2	0.3	0.2
大野市	3,980.5	3,818.9	3,028.9	66.6	37.2	16.6	318.8	43.2	68.0	34.5
勝山市	1,726.7	1,610.1	1,257.0	85.4	10.0	18.5	102.3	10.0	71.1	4.3
鯖江市	2,118.3	1,953.7	1,614.3	191.6	4.9	45.1	234.9	3.3	4.4	0.3
あわら市	2,602.9	2,510.1	1,889.6	58.8	－	0.0	584.7	1.3	13.6	0.1
越前市	3,529.2	3,259.9	2,564.6	258.2	21.3	71.5	383.3	11.6	37.0	－
坂井市	6,062.7	5,929.9	4,551.8	563.5	3.0	47.7	1,110.1	4.5	35.0	－
永平寺町	954.3	864.8	688.9	60.1	－	9.2	70.2	3.2	21.6	－
池田町	444.7	400.4	327.9	9.2	56.1	0.2	－	5.1	36.1	0.2
南越前町	943.7	884.8	719.3	164.8	3.1	0.7	73.5	2.1	12.6	1.1
越前町	1,245.8	1,116.8	916.5	48.4	5.3	8.5	80.2	10.1	10.5	3.4
美浜町	755.4	666.9	553.9	33.6	－	29.5	16.7	2.9	2.3	7.7
高浜町	350.6	288.5	248.7	10.7	－	12.4	4.6	－	1.2	－
おおい町	678.1	587.8	473.8	30.9	－	25.0	34.7	0.4	1.8	3.0
若狭町	1,757.4	1,617.5	1,255.8	104.0	3.7	99.0	97.3	1.5	－	5.7
合 計	37,120.7	34,562.8	27,368.6	2,381.0	168.3	570.8	4,044.4	107.2	364.5	65.0

作物作付面積(平成19年1月31日現在)

(ha)

市町名									
	野菜(A)	花き(B)	果樹(C)	地力増進	その他	作物不作付 水田面積	調整水田	自己保全管理	その他
福井市	215.8	24.6	26.6	3.2	134.9	567.5	178.2	270.4	118.9
敦賀市	69.2	5.3	21.0	－	8.7	97.5	1.7	44.2	51.6
小浜市	53.2	4.5	14.7	10.5	0.9	252.7	25.7	95.2	131.8
大野市	262.8	18.6	2.6	14.8	10.1	161.6	24.7	113.9	23.0
勝山市	121.3	8.5	5.1	0.3	11.7	116.6	26.9	48.4	41.3
鯖江市	45.2	0.5	1.0	－	4.7	164.6	87.4	39.3	37.9
あわら市	19.8	0.9	0.1	0.0	0.0	92.8	32.8	49.0	11.0
越前市	114.3	8.9	20.9	0.1	47.7	269.3	131.7	55.2	82.4
坂井市	44.5	11.3	2.7	2.5	119.8	132.8	40.4	49.3	43.1
永平寺町	44.4	25.0	1.1	－	1.2	89.5	19.8	45.5	24.2
池田町	26.0	0.5	2.4	－	2.0	44.3	1.1	27.1	16.1
南越前町	34.5	16.4	13.6	0.0	11.0	58.9	11.4	31.8	15.7
越前町	51.8	9.1	16.0	0.0	10.7	129.0	25.7	60.3	43.0
美浜町	27.3	2.3	7.9	1.6	14.8	88.5	9.7	44.0	34.8
高浜町	13.4	3.5	2.1	－	2.6	59.1	4.1	10.2	44.8
おおい町	24.6	0.4	21.6	0.9	1.6	90.3	24.1	25.5	40.7
若狭町	58.3	3.7	77.0	13.3	5.9	139.9	54.7	68.9	16.3
合 計	1,226.4	144.0	236.4	47.2	388.3	2,554.9	700.1	1,078.2	776.6

作物作付面積(平成19年1月31日現在)

(ha)

市町名	野菜 (A)													
		キャベツ	ダイコン	サトイモ	トマト	ナス	スイカ	キュウリ	タマネギ	ニンジン	ニンニク	スイートコーン	カボチャ	ブロッコリー
福井市	215.8	5.7	10.2	4.0	5.1	6.1	8.0	1.7	1.6	0.0	0.0	0.1	1.7	1.0
敦賀市	69.2	0.3	2.1	3.5	4.3	11.8	0.7	4.9	2.1	0.0	0.1		0.6	
小浜市	53.2	1.2	0.3	3.9	3.3	4.4	1.1	2.8	1.3	0.0	0.0	0.6	5.2	0.1
大野市	262.8	0.6	0.7	126.5	3.0	11.6	5.3	2.2	7.5	0.2	1.2	3.2	6.2	
勝山市	121.3	0.9	0.3	39.2	2.3	4.9	1.9	1.3	4.0	0.3	0.6	3.8	2.9	
鯖江市	45.2	0.1	0.1	0.0	1.4	0.2	0.0	0.7	0.3					
あわら市	19.8	0.2	0.6		4.8		3.0			0.1				
越前市	114.3	0.8	0.8	8.0	6.1	16.9	0.6	3.7	1.7		0.0	0.0	2.6	
坂井市	44.5	1.3	0.1	1.9	5.2	1.2	0.2	0.1	0.3		0.0	0.2	0.6	0.0
永平寺町	44.4								2.3	0.3	1.8			
池田町	26.0	0.1	0.3	3.6	0.8	2.4	0.1	1.0	0.2	0.1	0.1		0.9	
南越前町	34.5	0.3	2.0	2.4	2.3	4.7	0.5	0.6	2.7	0.0	0.2	0.2	0.9	0.3
越前町	51.8	0.3	0.2	2.3	0.5	3.8	1.9	3.6	1.4		0.0	0.1	7.1	
美浜町	27.3	0.2	0.2	2.7	1.5	4.7	0.9	0.7	0.9				1.4	
高浜町	13.4	0.6	0.1	2.8	0.3	1.0	1.1	1.0	0.3				0.4	
おおい町	24.6	1.0	0.6	1.0	0.2	0.9	0.1	0.6	1.7	0.0		0.0	3.3	
若狭町	58.3	0.8	1.3	2.9	1.9	2.5	0.4	0.8	2.3		0.2		3.2	0.2
合 計	1,226.4	14.4	19.9	204.7	43.0	77.1	25.8	25.7	30.6	1.0	4.2	8.2	37.0	1.6

作物作付面積(平成19年1月31日現在)

(ha)

市町名			花き (B)						果樹 (C)					
	一寸ソラマメ	その他野菜		キク	スイセン	オータムヴィオレ	花ハス	その他花き		なし	もも	うめ	かき	その他果樹
福井市	0.4	170.2	24.6	6.8	9.1	0.0	0.1	8.6	26.6	0.3	0.6	10.3	4.2	11.2
敦賀市		38.8	5.3	2.7			0.3	2.3	21.0		0.3	6.8	6.4	7.5
小浜市	3.5	25.5	4.5	3.5			0.1	0.9	14.7		0.0	9.9	0.6	4.2
大野市		94.6	18.6	15.6			0.1	2.9	2.6	0.0		0.6	0.2	1.8
勝山市		58.9	8.5	6.8			0.1	1.6	5.1	0.1	0.3	1.0	0.9	2.8
鯖江市		42.4	0.5					0.5	1.0			0.1		0.9
あわら市		11.1	0.9					0.9	0.1			0.1		
越前市		73.1	8.9	1.5	0.0		0.0	7.4	20.9		0.7	10.8	4.2	5.2
坂井市	0.5	32.9	11.3	4.1		1.5	0.6	5.1	2.7		0.0	1.1	0.0	1.6
永平寺町		40.0	25.0	1.1				23.9	1.1			0.8		0.3
池田町		16.4	0.5				0.1	0.4	2.4	0.0		0.6	1.0	0.8
南越前町	0.0	17.4	16.4	1.3	0.4		14.2	0.5	13.6	0.1	0.7	2.2	9.4	1.2
越前町		30.6	9.1	3.6	5.0		0.2	0.3	16.0		1.0	7.9	2.4	4.7
美浜町	0.5	13.6	2.3	0.1			1.1	1.1	7.9	0.3	0.1	5.9	0.4	1.2
高浜町	1.5	4.3	3.5	0.3				3.2	2.1			1.0	0.4	0.7
おおい町	0.4	14.8	0.4	0.4				0.0	21.6		0.6	17.5	0.1	3.4
若狭町	2.7	39.1	3.7	0.9			0.6	2.2	77.0	0.4	0.1	64.8	5.8	5.9
合 計	9.5	723.7	144.0	48.7	14.5	1.5	17.5	61.8	236.4	1.2	4.4	141.4	36.0	53.4

助成対象面積(平成19年1月31日現在)

(ha)

市町名	地域特例 作物に対 する助成	そば	サトイモ	スイカ	ウメ	ミディトマト (施設)	一寸ソラ マメ	スイセン	花ハス	キュウリ	タマネギ	ニンジン
福井市	36.8	26.2		1.5				9.1				
敦賀市	0.8									0.8		
小浜市	0.3					0.3						
大野市	124.4		122.8									
勝山市	36.5		36.5									
鯖江市	2.7	2.7										
あわら市	4.8					4.8						
越前市	29.6	29.6										
坂井市												
永平寺町	4.7										2.7	0.3
池田町	30.5	30.5										
南越前町	15.3	2.8							12.5			
越前町	8.9	3.7						0.3		0.4		
美浜町	0.5						0.5					
高浜町	0.9						0.9					
おおい町	0.5									0.5		
若狭町	6.6				4		2.6					
合 計	303.8	95.5	159.3	1.5	4	5.1	4	9.4	12.5	1.7	2.7	0.3

助成対象面積(平成19年1月31日現在)
(ha)

市町名				意欲的な 生産調整 の取組み	地力増進作物	景観形成作物	加工用米
	ニンニク	スイート コーン	カボチャ				
福井市				124.8			124.8
敦賀市				1.9		1.9	
小浜市				10.2	10.2		
大野市		1.6		14.1	14.1		
勝山市				0.2	0.2		
鯖江市							
あわら市							
越前市				59.4			59.4
坂井市				28.6			28.6
永平寺町	1.7			22	22		
池田町							
南越前町							
越前町			4.5				
美浜町				27.6			27.6
高浜町				10.3			10.3
おおい町				24.5			24.5
若狭町				84.4	12.1		72.3
合 計	1.7	1.6	4.5	408	58.6	1.9	347.5

作物作付面積(平成19年1月31日現在)

(ha)

市町名	周年作													その他 (G)
		大麦	水稻	大豆	そば	野菜 (A)	花き (B)	野菜	水稻	大豆 (C)	そば (D)	野菜 (E)	花き (F)	
福井市	584.9	584.9	0.0	303.8	273.5	7.6								
敦賀市														
小浜市	29.0	27.7	7.1	15.4	1.0	0.8	3.4	0.7		0.2		0.5		0.6
大野市	280.6	280.6		27.8	252.7	0.1								
勝山市	83.8	81.5		1.9	75.6	2.6	1.4	0.5			0.5			1.8
鯖江市	137.0	137.0		66.0	71.0									
あわら市	482.3	482.3		249.2	231.1	1.0	1.0							
越前市	82.6	82.6		27.7	54.9									
坂井市	787.6	787.6	10.2	349.6	424.0	3.8								
永平寺町	39.9	34.7		4.2	30.5			1.4			1.4			3.8
池田町	2.9													2.9
南越前町	66.1	66.1		11.0	55.1									
越前町	31.2	28.8		11.0	17.8									2.4
美浜町	6.0	6.0		1.0	4.0	1.0								
高浜町	1.0	0.9			0.9			0.1			0.1			
おおい町	26.0	25.9			25.5	0.4		0.1			0.1			
若狭町	29.1	27.3		2.2	20.9	2.0	2.2	1.8				1.8		
県合計	2,670.0	2,653.9	17.3	1,070.8	1,538.5	19.3	8.0	4.6	0.0	0.2	2.1	2.3	0.0	11.5

区分	A	B	C	D	E	F
1 作目	野菜(2作目)	花き(2作目)	野菜(1作目)	野菜(1作目)	野菜(1作目)	野菜(1作目)
福井市	キャベツ他					
敦賀市						
小浜市	キャベツ	ヒマワリ			一寸ソラマメ	
大野市	ハクサイ他					
勝山市		コスモス				
鯖江市						
あわら市	キャベツ	コスモス				
越前市						
坂井市	キャベツ、ブロッコリー他					
永平寺町				タマネギ		
池田町						
南越前町						
越前町						
美浜町	ダイコン					
高浜町				ソラマメ		
おおい町	ダイコン					
若狭町	ダイコン、キャベツ、ブロッコリー	コスモス			カボチャ他	

区分	E	F	G
1 作目	野菜(2作目)	花き(2作目)	その他
福井市			
敦賀市			
小浜市	キャベツ		インゲン+大豆
大野市			
勝山市			青刈り+そば
鯖江市			
あわら市			
越前市			
坂井市			
永平寺町			インゲン+そば
池田町			青わら+そば、 なたね+そば
南越前町			
越前町			
美浜町			
高浜町			
おおい町			
若狭町	キャベツ、ブロッコリー		

周年作の年次変化

平成15年度

区分	1作目	2作目	福井市	敦賀市	小浜市	大野市	勝山市	鯖江市	あわら市
1	大麦	水稻							
2		大豆	361.0		10.0	17.0	4.0	62.0	209.0
3		そば	134.0			246.0	76.0	23.0	148.0
4		野菜	5.0		1.0		3.0		2.0
5		花き							
6	野菜	水稻							
7		大豆	1.0				0.0		
8		そば							
9		野菜				1.0	0.0		
10		花き							
11	その他								

平成16年度

区分	1作目	2作目	福井市	敦賀市	小浜市	大野市	勝山市	鯖江市	あわら市
1	大麦	水稻				0.0			15.8
2		大豆	359.0		11.7	19.1	4.2	100.1	260.9
3		そば			3.8	277.3	69.3	31.2	168.2
4		野菜			1.1	0.1	2.2	0.3	1.3
5		花き				0.0	2.5	1.3	0.8
6	野菜	水稻							
7		大豆					0.1		
8		そば					1.9		
9		野菜				1.0			
10		花き							
11	その他						3.5		

平成17年度

区分	1作目	2作目	福井市	敦賀市	小浜市	大野市	勝山市	鯖江市	あわら市
1	大麦	水稻		0.7	18.3	0.0			
2		大豆	325.3		9.8	18.1	2.5	65.7	228.5
3		そば	256.9		1.1	247.8	60.0	62.8	162.2
4		野菜	3.8		0.6	0.1	2.4		1.0
5		花き				0.0	1.8		1.0
6	野菜	水稻							
7		大豆	0.8		0.3		0.0		
8		そば					1.2		
9		野菜	0.1		0.6		0.0		
10		花き			0.1				
11	その他				0.1		0.1		

平成18年度

区分	1作目	2作目	福井市	敦賀市	小浜市	大野市	勝山市	鯖江市	あわら市
1	大麦	水稻	0.0		7.1				
2		大豆	303.8		15.4	27.8	1.9	66.0	249.2
3		そば	273.5		1.0	252.7	75.6	71.0	231.1
4		野菜	7.6		0.8	0.1	2.6		1.0
5		花き			3.4		1.4		1.0
6	野菜	水稻							
7		大豆			0.2				
8		そば					0.5		
9		野菜			0.5				
10		花き							
11	その他				0.6		1.8		

※単位(ha)

周年作の年次変化

平成15年度

区分	1作目	2作目	越前市	坂井市	永平寺町	池田町	南越前町	越前町	美浜町
1	大麦	水稻							
2		大豆	94.0	520.0	8.0		25.0	13.0	2.0
3		そば	41.0	437.0	20.0		64.0		2.0
4		野菜		6.0	2.0		1.0		2.0
5		花き							
6	野菜	水稻							
7		大豆		0.0					
8		そば			3.0				
9		野菜							
10		花き							
11	その他				7.0				

平成16年度

区分	1作目	2作目	越前市	坂井市	永平寺町	池田町	南越前町	越前町	美浜町
1	大麦	水稻		113.5			1.3		5.5
2		大豆	60.0	400.7	3.0		16.5	11.0	2.0
3		そば	67.0	381.3	14.4		67.7	2.0	2.2
4		野菜		5.1	1.1		0.4		1.5
5		花き							
6	野菜	水稻							
7		大豆							
8		そば			0.8				
9		野菜		0.7					
10		花き							
11	その他		11.0	0.2	4.4	1.2		1.0	

平成17年度

区分	1作目	2作目	越前市	坂井市	永平寺町	池田町	南越前町	越前町	美浜町
1	大麦	水稻		0.2					4.9
2		大豆	36.9	343.5	5.0		12.6	11.7	2.3
3		そば	61.5	408.5	12.8		52.8	1.6	4.4
4		野菜		5.5	1.0				1.6
5		花き							
6	野菜	水稻							
7		大豆			0.0				
8		そば		0.1	0.1				
9		野菜		0.6					
10		花き							
11	その他			0.1	7.2	1.0		1.9	

平成18年度

区分	1作目	2作目	越前市	坂井市	永平寺町	池田町	南越前町	越前町	美浜町
1	大麦	水稻		10.2					
2		大豆	27.7	349.6	4.2		11.0	11.0	1.0
3		そば	54.9	424.0	30.5		55.1	17.8	4.0
4		野菜		3.8					1.0
5		花き							
6	野菜	水稻							
7		大豆							
8		そば			1.4				
9		野菜							
10		花き							
11	その他				3.8	2.9		2.4	

※単位(ha)

周年作の年次変化

平成15年度

区分	1作目	2作目	高浜町	おおい町	若狭町	県合計
1	大麦	水稻				
2		大豆		1.0	4.0	1,330.0
3		そば		21.0		1,212.0
4		野菜			1.0	23.0
5		花き				
6	野菜	水稻	0.5			0.5
7		大豆	1.0			2.0
8		そば				3.0
9		野菜	22.0			23.0
10		花き				
11	その他					7.0

平成16年度

区分	1作目	2作目	高浜町	おおい町	若狭町	県合計
1	大麦	水稻			3.0	139.1
2		大豆		1.3	1.0	1,250.5
3		そば		20.8	1.0	1,106.2
4		野菜			3.0	16.1
5		花き				4.6
6	野菜	水稻				
7		大豆				0.1
8		そば				2.7
9		野菜			1.0	2.7
10		花き				
11	その他					21.3

平成17年度

区分	1作目	2作目	高浜町	おおい町	若狭町	県合計
1	大麦	水稻		3.7		27.8
2		大豆			0.6	1,062.5
3		そば		20.8	1.0	1,354.2
4		野菜		0.2	1.0	17.2
5		花き				2.8
6	野菜	水稻				
7		大豆				1.1
8		そば				1.4
9		野菜			0.5	1.8
10		花き				0.1
11	その他					10.4

平成18年度

区分	1作目	2作目	高浜町	おおい町	若狭町	県合計
1	大麦	水稻				17.3
2		大豆			2.2	1,070.8
3		そば	0.9	25.5	20.9	1,538.5
4		野菜		0.4	2.0	19.3
5		花き			2.2	8.0
6	野菜	水稻				
7		大豆				0.2
8		そば	0.1	0.1		2.1
9		野菜			1.8	2.3
10		花き				0.0
11	その他					11.5

※単位(ha)

平成18年度水田農業構造改革交付金地域助成事業分明細 (単位:円)

地域協議会名	配分額	助成額	備考
福井市地域水田農業推進協議会	452,857,593	452,857,593	
敦賀市水田農業運営協議会	16,397,970	15,792,300	
小浜市水田農業推進協議会	50,187,007	50,108,578	
大野市産地づくり推進協議会	223,378,905	223,378,905	
勝山市水田農業推進協議会	86,938,291	86,642,812	
鯖江市水田農業運営協議会	144,665,463	138,304,032	
あわら市水田農業推進協議会	305,509,037	305,509,037	
越前市武生地区水田農業推進協議会	200,490,400	200,490,400	
越前市今立地区水田農業推進協議会	31,619,467	31,619,467	
三国町水田農業推進協議会	69,149,082	69,040,282	
丸岡町水田農業推進協議会	181,412,580	171,675,265	
春江町水田農業推進協議会	139,587,530	138,923,247	
坂井町水田農業推進協議会	228,914,871	228,905,900	
吉田郡水田農業推進協議会	52,413,021	43,704,600	
池田町総合農政推進協議会	21,289,400	21,279,623	
南越前町水田農業推進協議会	64,037,850	59,944,072	
越前町朝日地区水田農業推進協議会	45,342,938	41,235,305	
越前町宮崎地区水田農業推進協議会	8,027,668	8,027,668	
越前町越前地区水田農業推進協議会	552,073	537,470	
越前町織田地区水田農業推進協議会	6,024,434	5,401,251	
美浜町水田農業推進協議会	22,241,036	22,241,036	
高浜町地域水田農業推進協議会	7,681,522	7,676,907	
おおい町大飯地区水田農業推進協議会	18,380,024	18,379,492	
おおい町名田庄地区水田農業推進協議会	10,861,437	10,437,866	
若狭町三方地区水田農業推進協議会	32,605,969	32,605,969	
若狭町上中地区水田農業推進協議会	99,388,582	99,387,715	
合 計	2,519,954,150	2,484,106,792	

平成18年度特別調整促進加算事業分の明細

(単位:円)

地域協議会名	当初計画額	交付額	備 考
	①	②	
福井市地域水田農業推進協議会	8,952,454	8,952,454	
敦賀市水田農業運営協議会	221,451	223,043	
小浜市水田農業推進協議会	439,786	439,782	
大野市産地づくり推進協議会	15,245,286	15,020,784	
勝山市水田農業推進協議会	4,239,012	4,239,012	
鯖江市水田農業運営協議会	242,685	242,685	
あわら市水田農業推進協議会	1,409,196	1,409,196	
越前市武生地区水田農業推進協議会	3,612,944	3,612,944	
越前市今立地区水田農業推進協議会	958,719	958,719	
三国町水田農業推進協議会	452,936	452,936	
丸岡町水田農業推進協議会	0	0	
春江町水田農業推進協議会	0	0	
坂井町水田農業推進協議会	805,684	805,684	
吉田郡水田農業推進協議会	1,433,026	1,437,243	
池田町総合農政推進協議会	2,953,255	2,953,255	
南越前町水田農業推進協議会	3,998,085	3,998,085	
越前町朝日地区水田農業推進協議会	550,142	550,142	
越前町宮崎地区水田農業推進協議会	321,572	321,572	
越前町越前地区水田農業推進協議会	149,612	149,612	
越前町織田地区水田農業推進協議会	168,332	168,332	
美浜町水田農業推進協議会	1,379,609	1,379,441	
高浜町地域水田農業推進協議会	702,330	702,330	
おおい町大飯地区水田農業推進協議会	1,076,680	1,076,680	
おおい町名田庄地区水田農業推進協議会	77,926	77,926	
若狭町三方地区水田農業推進協議会	1,003,071	1,003,071	
若狭町上中地区水田農業推進協議会	3,959,508	3,959,508	
合 計	54,353,301	54,134,436	

平成 1 8 年度表・大豆品質向上対策実施状況

1. 大麦

地 域 協 議 会 名	助成対象者数				助成対象面積 (㎡)	品質等要件ク リア率	国庫補助金 (円)
	認定農業者	特定農業団体	生産集団	計			
福井市地域水田農業推進協議会	32	1	35	68	5,493,487	0.83195	59,414,617
敦賀市水田農業運営協議会	2			2	5,780	0.94748	71,194
小浜市水田農業推進協議会	9			9	215,881	0.90540	2,540,986
大野市産地づくり推進協議会	26		1	27	2,864,250	0.74052	27,573,489
勝山市水田農業推進協議会	6		2	8	1,001,900	0.89180	11,615,553
鯖江市水田農業運営協議会	13		1	14	676,898	0.80820	7,111,980
あわら市水田農業推進協議会	23		8	31	3,365,872	0.66649	29,163,588
越前市武生地区水田農業推進協議会	10		14	24	3,354,199	0.81501	35,538,598
越前市今立地区水田農業推進協議会	5			5	57,879	0.80820	608,116
三国町水田農業推進協議会	3	2		5	487,994	0.78398	4,973,569
丸岡町水田農業推進協議会	38		3	41	1,410,579	0.68836	12,622,983
春江町水田農業推進協議会	6		2	8	684,529	0.68848	6,126,783
坂井町水田農業推進協議会	20			20	1,114,313	0.60632	8,783,328
吉田郡水田農業推進協議会	3	3	3	9	473,708	0.85829	5,285,584
南越前町水田農業推進協議会	11			11	345,541	0.81501	3,661,091
越前町朝日地区水田農業推進協議会	3			3	53,556	0.86046	599,082
美浜町水田農業推進協議会	5			5	167,112	0.84957	1,845,672
高浜町地域水田農業推進協議会	1			1	9,200	0.90540	108,287
おおい町大飯地区水田農業推進協議会	2			2	32,040	0.90540	377,120
おおい町名田庄地区水田農業推進協議会	1			1	51,988	0.90540	611,915
若狭町三方地区水田農業推進協議会	7			7	366,060	0.87391	4,158,790
若狭町上中地区水田農業推進協議会	15			15	294,200	0.89434	3,420,527
県 合 計	241	6	69	316	22,526,966	0.77245	226,212,852

2. 大豆

地 域 協 議 会 名	助成対象者数				助成対象面積 (㎡)	品質等要件ク リア率	国庫補助金 (円)
	認定農業者	特定農業団体	生産集団	計			
越前町朝日地区水田農業推進協議会	1			1	8,060	0.36324	38,061
県 合 計	1	0	0	1	8,060	0.36324	38,061

平成 1 8 年度耕畜連携推進対策実施状況

地 域 協 議 会 名	助成区分	助成対象者数	助成対象面積 (㎡)	国庫補助金 (円)
福井市地域水田農業推進協議会	稲発酵粗飼料	1	36,400	473,200
	水田放牧	1	4,630	60,190
	資源循環	1	36,400	473,200
	計	3	77,430	1,006,590
大野市産地づくり推進協議会	団地化	2	183,950	2,391,350
勝山市水田農業推進協議会	団地化	1	9,130	118,690
越前町宮崎地区水田農業推進協議会	団地化	1	22,317	290,121
	稲発酵粗飼料	1	10,511	136,643
	計	2	32,828	426,764
若狭町三方地区水田農業推進協議会	団地化	1	19,570	254,410
県 合 計	団地化	5	234,967	3,054,571
	稲発酵粗飼料	2	46,911	609,843
	水田放牧	1	4,630	60,190
	資源循環	1	36,400	473,200
	計	9	322,908	4,197,804

18年産 稲作所得基盤確保対策加入状況表

(単位: 俵、円)

	JA	稲得加入者	(ゼロ加入)	稲得加入数量	稲得拠出金
1	福 井 市	3,431	810	202,841.0	87,221,630
2	福井市南部	870	257	44,150.0	18,984,500
3	越 前 美 山	63	4	3,258.0	1,400,940
4	吉 田 郡	577	76	28,690.0	12,336,700
5	花 咲 ふく い	4,426	523	379,948.5	163,377,855
6	春 江	765	50	67,947.5	29,217,425
7	テラル越前	3,882	824	248,408.5	106,815,655
8	福 井 丹 南	1,631	344	89,598.0	38,527,140
9	福井池田町	234	52	6,380.5	2,743,615
10	越 前 丹 生	1,519	174	75,316.0	32,385,880
11	越前たけふ	2,906	644	134,549.0	57,856,070
12	敦 賀 市	346	7	17,553.0	7,547,790
13	三 方 五 湖	349	19	23,784.5	10,227,335
14	若狭美浜町	228	6	20,521.5	8,824,245
15	若 狭	1,398	122	83,122.0	35,742,460
	合 計	22,625	3,912	1,426,068.0	613,209,240

この数値は、平成19年3月末現在で集計したもの。

18年産 担い手経営安定対策加入状況表

(単位:アール、円)

	JA	担経加入者	(ゼロ加入)	担経加入面積	担経拠出金
1	福 井 市	39	0	49,517.6	7,427,640
2	福井市南部	3	0	2,054.7	308,205
3	越 前 美 山	3	0	1,421.7	213,255
4	吉 田 郡	10	0	8,909.4	1,336,410
5	花 咲 ふ く い	85	0	64,024.9	9,603,735
6	春 江	8	0	4,827.8	724,170
7	テラル越前	56	0	65,419.8	9,812,970
8	福 井 丹 南	37	1	22,259.8	3,338,970
9	福井池田町	0			
10	越 前 丹 生	7	0	4,210.2	631,530
11	越前たけふ	48	5	34,321.5	5,148,225
12	敦 賀 市	9	0	3,130.5	469,575
13	三 方 五 湖	13	0	7,602.0	1,140,300
14	若狭美浜町	13	0	12,125.1	1,818,765
15	若 狭	39	1	22,921.7	3,438,255
	合 計	370	7	302,746.7	45,412,005

この数値は、平成19年3月末で集計したもの。

17年産 稲作所得基盤確保対策補てん金支払状況表

(単位: 俵、円)

	JA	対象者数	契約数量	稲得補てん金	備考
1	福 井 市	3,539	194,050.9	228,980,062	
2	福井市南部	858	38,242.5	45,126,150	
3	越 前 美 山	69	2,475.9	2,921,562	
4	吉 田 郡	710	26,064.3	30,755,874	
5	花 咲 ふく い	4,930	348,150.6	410,817,708	
6	春 江	833	57,048.0	67,316,640	
7	テラル越前	4,556	232,752.4	274,647,832	
8	福 井 丹 南	1,751	80,835.6	95,386,008	
9	福井池田町	250	5,081.2	5,995,816	
10	越 前 丹 生	1,467	69,120.9	81,562,662	
11	越前たけふ	3,070	124,804.5	147,269,310	
12	敦 賀 市	336	14,990.1	17,688,318	
13	三 方 五 湖	373	24,167.9	28,518,122	
14	若狭美浜町	259	21,087.0	24,882,660	
15	若 狭	1,504	82,406.7	97,239,906	
	合 計	24,505	1,321,278.5	1,559,108,630	

※ 平成17年産の補てん金は1,180円／60kgです。

17年産 担い手経営安定対策補てん金支払状況表

(単位:アール、円)

	JA	対象者数	契約面積	担経補てん金	備考
1	福 井 市	25	35,290.9	5,328,926	
2	福井市南部	3	1,090.7	164,695	
3	越 前 美 山	3	1,200.1	181,216	
4	吉 田 郡	7	4,752.7	717,658	
5	花 咲 ふく い	70	44,721.6	6,752,965	
6	春 江	5	2,621.6	395,861	
7	テラル越前	46	50,092.2	7,563,922	
8	福 井 丹 南	39	20,015.1	3,022,278	
9	福井池田町	0			
10	越 前 丹 生	4	2,146.9	324,182	
11	越前たけふ	40	24,938.4	3,765,702	
12	敦 賀 市	6	2,078.2	313,808	
13	三 方 五 湖	11	7,099.6	1,072,041	
14	若狭美浜町	12	11,600.1	1,751,615	
15	若 狭	32	19,776.4	2,986,241	
	合 計	303	227,424.5	34,341,110	

※ 平成17年産の補てん金は1, 510円／10アールです。

18 年度地域水田農業ビジョン大賞福井賞

(ふりがな) 協議会名	あわらし すいでんのうぎょうすいしんきょうぎかい あわらし市水田農業推進協議会		
構成組織 (正式名称でお願いします)	花咲ふくい農業協同組合 坂井農林総合事務所 あわらし市農業委員会 あわらし市議会産業建設委員会 あわらし市土地改良区合同事務所 担い手代表者 あわらし市食生活改善推進員 あわらし市 福井農政事務所（アドバイザー）	関係市町村	あわらし市
(ふりがな) 代表者	たがわ きゅういちろう 会長 田 川 久一郎 (所属組織：花咲ふくい農業協同組合 常務理事)		
事務局	あわらし市農林水産課 生産振興グループ (担当者：江守)	〒919-0692 福井県あわらし市市姫三丁目 1 - 1 電話：0776-73-8025 ファクス：0776-78-4325 e メール：seisan-g@city.awara.fukui.jp	

1. ビジョンの概要

○ビジョンのポイント等

あわら市地域水田農業ビジョンでは、従来より、地域ぐるみでの団地化や担い手への集積、基本技術の励行、水田の高度利用等を通じて更なる経営改善努力を促進し、米と麦・大豆等を組み合わせた収益性の高い安定した水田農業の確立を図ってきた。

このような中、農林水産省では、平成17年10月に策定した経営所得安定対策等大綱のなかで、これからの農業の持続的発展を図るためには、構造改革を促進し施策の対象となる担い手を明確化した上で、その経営の安定を図る対策に転換すると表した。

そこで、あわら市水田農業推進協議会では、将来にわたり、効率的かつ安定的な地域農業を推進するためには、集落合意に基づいた担い手の育成や集落ぐるみによる農業資源の保全活動が最も重要なポイントと捉え、農用地利用規程の策定を通じた担い手への面的な利用集積や地域農業の役割分担を図ることをビジョンに明記した。

【アピール点】

・ビジョンの実現に向けては、担い手育成・確保運動と連携した産地づくり対策を推進していくことが重要なことから、集落の話し合い・合意形成を政策面からバックアップするために、産地づくり計画に「集落ビジョン促進特別加算」を新たに創設した。

・集落ビジョン促進特別加算とは、集落の合意内容を農用地利用規程に定めた場合、区域内の生産調整面積に特別加算を措置するもので、品目横断的経営安定対策や産地づくり対策と密接に関係する農業経営基盤強化促進法に基づく農用地利用改善事業についての周知徹底が図られた。

・集落に対しては、あわら市担い手育成総合支援協議会と連携のうえ、5年先、10年先を見据えた徹底した話し合いを求めてきた。集落での合意形成は、どの例をとっても困難を極めたが、130回を超える説明会と農業者の熱意により、法人化への流れが一気に加速。農政に関する厳しい意見や批判はあったものの、大多数の集落においては、農用地利用規程の策定を通じて、ブロックローテーションによる農用地の高度利用や米の生産調整の推進を今後とも堅持していくこととし、併せて担い手の明確化が図られた。

・水田農業に係る農業生産法人は、24法人が新たに設立され、30法人を数えることとなった。また、集落ぐるみでの話し合いの結果、市内の水田面積の70%が農用地利用規程の区域として設定された。非担い手と担い手の合意のもと、5年先、10年先を見据えた集落としての指針が示されたことになり、地域農業の構造改革が一気に進展した。

・担い手への資格申請に際しては、集落合意を踏まえた担い手(農用地利用規程に担い手として明記され、集積目標が示されていること)となることを強く指導としていることから、今後とも、農用地利用改善組合を通じた集落営農組織と認定農業者等との土地利用調整や役割分担が円滑に進むものと期待できる。

(H19.1月現在：以下の数値)

・水田農業に係る農業生産法人数 30 法人 (平成17.18年設立 24 法人)

うち) 特定農業法人 22 法人 (H18.6月時点 1 法人)

・特定農業団体 6 組織 (平成18年設立 6 組織)

・農用地利用規程策定集落数 42 集落

・農用地利用規程が策定された区域面積 概ね 1800ha (市内全体水田面積の70%)

・品目横断的経営安定対策

申請経営体数 62 経営体

担い手による麦播種面積 580ha (担い手カバー率 95%)

〃 水稻面積（見込み） 970ha（担い手カバー率 50%）

〃 水稻・麦面積（見込み） 1550ha（担い手カバー率 60%）

２．地域の概況

１）地域概要

あわら市は、福井県の最北端に位置しており、西と南は坂井市に、北東は石川県加賀市に隣接し、北西は日本海に面しています。面積は 116.99 平方kmで、地形は北部の丘陵地、南西部の平坦地、東部の中山間地帯と大きく 3 つに分かれており、南北に北潟湖が横たわり、東西には竹田川が流れています。

気候は、北陸地方の中でも比較的温暖で、5 月から 10 月までの日照時間が東京よりも長いことなど、気象環境は過ごしやすいものとなっています。あわら市は、美しい日本海と静かな湖や川、優れた泉質のあわら温泉、太陽をいっぱい浴びた農作物など、自然の恵みにあふれたところです。

本市の農業形態は、南部平坦区域と北部丘陵区域及び東部中山間区域に大別されます。

＜南部平坦区域＞は、圃場整備等の基盤整備が完了した坂井平野の穀倉地帯で、コシヒカリを主に良質米の生産が盛んで、生産調整のための麦・大豆の作付けは団地化ブロックローテーションにより行われています。

＜北部丘陵区域＞は、国営農地総合開発事業によって造成された広大な畑地が展開しており、大根やスイカを始めとする土地利用型農業や、メロンやトマトを中心とした施設園芸が盛んで、福井県随一の園芸産地となっています。

＜東部中山間区域＞は、中山間地域等直接払制度を活用し、中山間地域のもつ多面的機能の確保に努めながら、地域特性を活かしたそばの産地づくりに取り組んでいます。また、イノシシや熊の防除に向けた電気柵設置などの獣対策を集落ぐるみで取り組んでいます。

2) 協議会の概要

①協議会関係農家数（戸）		④水田の作付状況（ha）		⑥生産調整の状況	
合計	1,655	作物名	面積	目標米数量	10,124t
主業農家	39	水稻	1,890	目標水稻面積	1,896ha
準主業農家	8	大麦	585	水稻作付面積	1,890ha
副業的農家	1,608	大豆	250	達成率	99.7%
		そば	245		
②ビジョンの担い手数		野菜	20	⑦水稻品種別作付面積（ha）	
合計	83			品種名	面積
家族農業経営 （一戸一法人を含む）	47			ハナエチゼン	555
うち認定農業者	39			コシヒカリ	1,180
集落営農（集落営農の法人化 によるものを含む）	33			イクヒカリ	31
うち特定農業団体	6			その他	124
うち特定農業法人	22				
うち特定農業団体と同様の 要件を満たす集落営農（注）	0				
法人経営（一戸一法人・集落 営農の法人化によるものを除く）	3				
うち農業生産法人	3	水田の土地利用率	115%		
うち認定農業者	3				
③地目別面積（ha）		⑤水田以外での生産状況		⑧集落数	
合計	3,854	作物	面積	全集落数	89
水田	2,856	（畜種）名	（ha、頭羽数）	うち集落営農に取り 組むもの	35
普通畑	900	甘藷	48		
樹園地	91	梨	35		
牧草地	7	スイカ	55		
その他		柿	34		

3. ビジョンの策定・実践、点検、見直しのプロセスについて

■ 地域協議会の体制と役割分担について

協議会事務局である行政、J A、農業委員会などの6組織と担い手代表者（認定農業者）、消費者代表者（食生活改善推進員）を方針決定機関とし、福井農政事務所をアドバイザーとして位置づけている。現場指導では、指導者連絡協議会（構成：市、J A営農指導員、県普及指導員）及び担い手育成総合支援協議会（構成：市、J A各支店長、営農指導員、県普及指導員）と連携をとりながら、農家組合長会議、営農座談会等を通じて、生産農家への周知徹底を図っている。

■ ビジョン策定のプロセスについて

営農座談会や集落説明会等を通じての生産農家からの様々な声を直接市やJ Aの担当者が聞き、指導者連絡会や担い手育成総合支援協議会で集約、検討を重ね、水田農業推進協議会で決定している。そして、水田農業推進協議会で決定したビジョン案を、再び、営農座談会や集落説明会等において生産農家へフィードバックし、周知徹底を図っている。

■ 具体的な推進体制と役割分担

担い手育成に関する基本的な考え方や品目横断的経営安定対策について、全生産農家に対して周知用パンフレット等の配布を行ったほか、市担当、J A営農指導員、県普及指導員がチームを組んで130回を超える集落説明会を開催し、徹底した現場指導を行った。

また、集落ごとに状況が異なるため、全集落を対象としたヒアリングを定期的実施し、集落の合意状況を地図情報管理システムに入力し随時更新するなど集落ごとの進捗状況の進行管理を行った。

■ ビジョンの点検と見直し

平成17年3月に閣議決定された新たな食糧・農業・農村基本計画を踏まえ、関係機関との連携のうね、同年6月に担い手育成総合支援協議会を設立。これからのビジョンの方向性について、協議を重ねた。協議の中では、これからの地域農業の持続的発展を図るためには、何よりも集落合意に基づいた担い手の明確化を図ることが重要と捉え、農用地利用規程の策定を通じた担い手への利用集積を地域水田農業ビジョンに明確に位置付けた。

4. 産地づくり交付金の活用方法

■ 交付金活用の目的

生産調整及び平成 19 年からの品目横断的経営安定対策の円滑な実施に向け、①重点作物（大麦、大豆、そば）や地域特産作物（ミディトマト）の生産振興を図るための助成、②作業効率を高めるための転作作物の団地化・集積化への助成、③水田の高度利用を図るための周年作物（大豆、そば等）への助成、④集落ぐるみでの獣害対策への助成、④集落合意に基づいた担い手の明確化を図るための助成等に対して助成措置を行った。

■ 具体的な使途、助成水準

助成体系は、①基本部分、②団地化・集積加算、③周年作加算 の3階建てとし、上記目的を踏まえた支払いを行った。また、麦、大豆、そばの収量、品質向上を一層進めるため、団地化・集積加算に、それぞれ取り組むべき技術要件を付加し、生産者の意欲喚起に努めている。助成水準は別紙の通り（略）。

■ 今年度の計画と実績見込み

周年作の作付面積が、ここ数年伸び悩んでいるため、助成単価を 10,000 円（反）に増額した。また、平成 19 年からの品目横断的経営安定対策への円滑な移行を図るため、集落ビジョン促進特別加算を創設し、集落における担い手の特定に関する合意、農業資源保全に関する合意を農用地利用規程に定めた集落に対して、基本助成に上乗せして助成した。

5. ビジョンにおける取り組みと成果について

(1) 需要にもとづく作物の生産・販売

■ 売れる米づくりについて

①18年度の目標（17年度までの実績を踏まえて見直した点など）

消費者ニーズに合った米づくりの中で、消費者の視点に立って安全・安心な生産現場の確立を目指すため、トレーサビリティシステムの導入と生産体制の確保に努める。

また、省力、低コスト化を進めるため、直播栽培の推進に努める。

②18年度の取り組みと実績・成果

トレーサビリティシステムの導入について、生産現場への徹底が図られた。その結果、全生産農家が生産管理状況を記帳し、出荷前に記帳簿をJAに提出している。JAでは、その内容を取りまとめ、JA花咲ふくいのWEBサイト「花咲案内人」の中で、主要品種であるコシヒカリとハナエチゼンについてあわら地区の生産履歴を公開している。

また、直播栽培については、集落営農組織を中心に推進し、平成15年に6.5haであったものが、平成18年には9.2haに拡大した。

③18年度の課題と次年度以降の方向性

消費者・実需者ニーズに合った米づくりを推進するため、認定農業者会等との連携のもと、各種研修会を行い、生産現場への周知徹底や市場調査等に取り組む。

■ 米以外の作物について

①18年度の目標（17年度までの実績を踏まえて見直した点など）

・大麦、大豆、そばについては、引き続き基本技術の徹底により品質向上に努め、消費者・実需者ニーズを踏まえた生産体制の確立を図る。また、麦+大豆を基本に中山間地域を中心に麦+そばの周年作を推進し、水田の高度利用等を通じて米と麦・大豆等を組み合わせた収益性の高い水田農業の確立を図る。

②18年度の取り組みと実績・成果

・大麦の作付面積は、前年比3.3ha増加し、58.5haとなり、10a当たり収量は、前年比11.8kg増加し、34.7kgとなった。また、当市の番田営農生産組合が大麦の作付面積1.3ha、10a当たり収量5.07kgと優秀な成績を上げ全国麦作共励会で受賞するなど着実な成果を上げた。

・大豆の作付面積は、前年比2.1ha増加し、25.0haとなり、10a当たり収量は、前年比4.9kg増加し、15.1kgとなった。

・そばの作付面積は、前年比6.5ha増加し、24.5haとなり、10a当たり収量は、前年比9kg増加し、7.5kgとなった。また、市内の生産農家が、全国そば生産優良地区表彰で受賞するなど中山間地域を中心とした特産として定着が図られた。

・麦+大豆と麦+そばの周年作率については、70%から80%に増加した。

③18年度の課題と次年度以降の方向性

・大麦、大豆、そばについては、95%以上が担い手による作付けになることから、認定農業者会との連携により、栽培技術の向上等に努め、引き続き消費者・実需者ニーズを踏まえた生産体制の確立を図る。

(2) 担い手の確保・育成

①18年度の目標（17年度までの実績を踏まえて見直した点など）

集落合意に基づいた担い手の育成・確保が重要なことから、集落における担い手の特定に関する合意などを織り込んだ農用地利用規程の策定等を水田農業ビジョンに位置づけ、推進活動を行った。

②18年度の取り組みと実績・成果

農用地利用規程の策定を通じ、集落合意に基づいた担い手の育成が図られ、集落単位による担い手への規模拡大や組織経営体の規模拡大が図られた。

集落への説明に当たり、特に認定農業者がいる集落については、農地や農作業を委託する農家は認定農業者へ集積し、集落営農組織に参加する農家は何らかの形で自分で農業に携わることを基本にする様指導してきた。その結果、認定農業者と集落営農組織の農地の利用について集落の話し合いの中で利用調整が進められ、スムーズな担い手育成につながった。

(H19.1月現在)

- ・水田農業に係る農業生産法人数 30 法人（平成 17. 18 年設立 24 法人）
うち）特定農業法人 22 法人（H18. 6 月時点 1 法人）
- ・特定農業団体 6 組織（平成 18 年設立 6 組織）
- ・農用地利用規程策定集落数 42 集落
- ・農用地利用規程が策定された区域面積 概ね 1800ha（市内全体水田面積の 70%）
- ・品目横断的経営安定対策
申請経営体数 62 経営体
担い手による麦播種面積 580ha（担い手カバー率 95%）
〃 水稻面積（見込み） 970ha（担い手カバー率 50%）
〃 水稻・麦面積（見込み） 1550ha（担い手カバー率 60%）

③18年度の課題と次年度以降の方向性

今後とも、農用地利用規程の策定等を通じ集落合意に基づいた担い手の育成・確保を推進していくこととする。また、効率的かつ安定的な地域農業を推進するためには、担い手の経営基盤の安定を図ることが重要なことから、各種研修等を通じて経営体としての自発的な管理能力の向上を図る。

(3) 特色ある地域づくり

①18年度の目標（17年度までの実績を踏まえて見直した点など）

水田を活用した園芸部門として、ミディトマトの「越のルビー」を特産品として推進するとともに、加工・販売面において女性農業者や女性グループによる意欲的な取り組みを推進する。

②18年度の取り組みと実績・成果

県内最大の温泉地である特色を生かし、農村女性グループと温泉旅館若女将のグループとの定期的な交流を通じて、特産品の「越のルビー」のアピールや加工品開発に取り組んでいる。

また、北部丘陵区域の畑作地帯の農産物直売所「きららの丘」に、JAが独自に米粉パンと特産そばの加工販売施設を併設し、好評を得ている。

③18年度の課題と次年度以降の方向性

温泉と観光、農業のまちの特徴を生かした特産品の育成に取り組むとともに、平成 19 年からスタートする農地・水・環境保全向上活動と連携し、農村集落の秩序と水田機能の維持・確保に努める。

1 8年度地域水田農業ビジョン大賞福井賞

協議会名	いけだちょうそうごうのうせいすいしんきょうぎかい 池田町総合農政推進協議会		
構成組織	池田町・池田町議会・ 池田町農業委員会・ 福井池田町農業協同組合・ 池田町農林公社・福井県農業 共済組合・池田町土地改良区 ・池田町農作業受託組合他	関係市町村	池田町
代表者	すぎもとひろぶみ 会長 杉 本 博 文 (所属組織 池田町)		
事務局	池田町農林課 (担当者：佐野)	〒910-2512 福井県今立郡池田町稻荷35-4 電話 0778-44-8002 FAX 0778-44-8080 eメール n.sano@town.ikedate.fukui.jp	

1. ビジョンの概要

■ ビジョンのポイント

1 池田町水田農業活性化ビジョンのポイント

環境に優しい「地域資源連結循環型農村」を目指し、家庭の生ゴミを堆肥化する「食Uターン事業」に取り組み、町内で生産された堆肥を使った土づくりをもとにした池田町独自の農産物認証制度「ゆうきげんき正直農業」を展開する。安全・安心な農産物づくりを推進し付加価値を一層高めた農産物のブランド化を目指す。

また担い手については、集落営農組織を重要な担い手として位置づけ、組織育成に取り組むとともに、集落と認定農業者が連携した農業生産活動を推進し、農業所得の向上と水田農業の活性化を目指す。

【アピール点】

池田町で生産されるすべての米が特別栽培米に移行することを目標に「生命に優しい米づくり運動」を展開をする。また、特産のそばについては、生産調整の重要な作物として、安定した収量の確保と品質の向上を目指し作付を振興する。少量多品目の産地づくりのため、安全・安心な野菜や雑穀、果樹や花木の作付を推進し「百匠一品」の特産品づくりに取り組む。

2 地域協議会における取り組み

1) 環境に配慮した農産物の生産

家庭から出る生ゴミを堆肥化し、農地に還元し土づくりを行なう「食Uターン事業」や池田町独自の農産物認証制度「ゆうきげんき正直農業」を展開し、安全・安心な農産物の生産を指導している。

2) 特別栽培米の作付拡大

池田町の基幹作物である水稻は、特別栽培米の生産拡大に力を入れている。平成18年度は約91haの水田で作付けが行われており、水稻作付面積の約3割弱となっている。今後とも環境に配慮した特別栽培米の作付推進のため、生産基準の見直し、指導体制の強化、販売の拡大、田んぼの生き物調査等の活動を実施していく。

3) 町特産のそばの作付振興

町特産そばの振興のため、安定的な収量確保と品質の向上を図るため、管理体制、排水対策を強化し農家の所得向上につなげる。

4) 少量多品目商品の開発、販売

水田を利活用し、野菜、花、雑穀、果樹、花木等の作付けを推進するとともに、農村力を活かした商品化および販売の強化を積極的に行なっている。

5) 担い手の育成

認定農業者については、池田町農林公社から農地の幹旋や大型機械のリースを行ない、経営規模拡大や効率化を推進している。また集落の農地保全のため、集落営農組織の育成を図ると共に、認定農業者と集落の連携を推進している。

2 地域の概況

1) 地域概要

池田町は福井県の東南部に位置し、岐阜県と接する典型的な中山間地域である。面積は194,720 km^2 あるが山林が9割を占めており、農地はほとんどが水田で約450 ha ある。町の中央を九頭竜川水系足羽川が流れ、日本の滝百選に選ばれた「龍双ヶ滝」、残したい自然百選に選ばれた「冠山」(1256.6m)などがあり、のどかで豊かな日本の農山村風景が広がる町である。また、国指定の重要無形民俗文化財「水海の田楽能舞」が約八百年にわたり受け継がれており、鎌倉・室町時代の古面が四十数面残され「能楽の里」としても全国に有名である。

人口は3,500人余りであり、人口の減少は止まらず過疎地域や特定農山村地域、特別豪雪地域などの指定を受けている。高齢化率は37%を超え県下で最も高い状況にあるが、比較的元気な高齢者が多い町である。

産業は、町民のほとんどが農地及び山林を有していることから農林業が中心であり、豊かな水と肥沃な土、澄んだ空気などの自然条件から、おいしい米や野菜、山菜の町として知られ高く評価されている。

また、最近の官民上げた環境向上への取り組みと共に、地域資源連結循環型の町づくりは、全国的に高い評価を得ており、平成17年には自治体環境グランプリの全国最優秀に選ばれた。

池田町は、全国にあるまちやむらと比べ超一流の物はないが、人や文化、自然や環境といった地域資源（宝）が劣ることはないと自負しながら町づくりに取り組んでいる。

2) 協議会の概要

①協議会関係農家数 (戸)		④ 水田の作付状況(ha)		⑥ 生産調整の状況	
合計	6 9 5	作 物 名	面 積	目標米数量	1,390t
主業農家	1 3	水 稻	327.86	目標水稻面積	330.95ha
準主業農家	5 0	そ ば	36.14	水稻作付面積	327.87ha
副業的農家	4 0 6	野 菜	26.98	達成率	99.07%
		大 豆	5.15		
②ビジョンの担い手数		果 樹	3.01	⑦ 水稻品種別作付面積	
合計	3 3	その他	45.49	品種名	面積 (ha)
家族農業経営				コシヒカリ	311.47
(一戸一法人を含む)	1 2			ハナエチゼン	2.5
うち認定農業者	1 0			五百万石	1.5
集落営農 (集落営農の法人化によるものを含む)	7			モチ	11.89
				その他	0.5
うち特定農業団体	0				
うち特定農業法人	1				
うち特定農業団体と同様の要件を満たす集落営農	4				
法人経営 (一戸一法人・集落営農の法人化によるものを除く)	2				
うち農業生産法人	1	水田の土地利用率	90.04		
うち認定農業者	1		%		
③地目別面積(ha)		⑤ 水田以外での生産状況		⑧ 集落数	
合計	4 8 3	作物名	面積	全集落数	3 8
水 田	4 4 5	(畜種名)	(ha , 頭羽数)	うち集落営農に	7
普通畑	3 2	肉 牛	3 5 2	取り組むもの	
樹園地	1				
牧草地	0				
その他	5				

3. ビジョンの策定・実践、点検、見直しのプロセスについて

■ 地域協議会の体制と役割分担について

池田町総合農政推進協議会は、関係機関の事務担当者レベルからなる幹事会と農家や各種団体も会員となる総会の２段階に分けて会合を行なっている。

幹事会は町、農協、農業委員会、農林公社、県農林事務所から成っており、年間６回程度の調整会議を行なうとともに、課題ごとに小委員会を設置し、課題解決に向けて適時に会合を開催している。

総会は各機関の長、各種団体、農家と幹事会のメンバーで構成されており、年２回程度の会合を行なっている。

■ ビジョン策定のプロセスについて

ビジョン策定にあたっては、町で課題を整理し、課題別の推進方針（案）をつくり、関係機関の事務レベルの職員をもって構成する総合農政推進協議会幹事会で検討を重ねた。また認定農業者が組織するファーマーズ倶楽部に対しても原案を示し意見を求めた。そして、農政の最高決議機関である総合農政推進協議会総会において決議された。

■ 具体的な推進体制と役割分担

推進体制については、町、農協、農業委員会、農林公社、県農林事務所等がそれぞれ役割分担を行ない、総合農政幹事会で検討、調整を重ねながら推進している。

町は総合農政推進協議会の事務局をもち、ビジョン推進のための予算化、具体的推進方法の企画、立案を行ない、関係機関に役割を分担するとともに、担い手や集落営農組織育成や生産調整の推進を行なっている。

農協はそばの振興や堆肥を使った土づくり、特別栽培米の生産拡大に関する役割の他、農作業受託組合の事務局も担っている。

農林公社は担い手への機械のリースなど担い手育成に関することや、少量多品目商品の開発や販売、環境に配慮した農産物の生産に関する役割を担っている。

農業委員会は、担い手への農地流動化、農地データーの管理を行う。

県農林総合事務所は、担い手に対する技術的な支援や全体的なコーディネートとしての役割を担っている。

■ ビジョンの点検と見直し

１７年度の生産調整等の実績を踏まえ協議会幹事会で検討し、点検見直しを行った。見直しの主な点については、池田米のブランド化を推進する観点から、

特別栽培米を作付拡大を図るため「生命に優しい米づくり運動」を展開していくこと。特産のそばについては、確実な収量確保を目指して団地の固定化や前作に景観作物として菜種の作付を推進し、排水対策の強化に努める等栽培技術や管理を徹底することについて見直しを行っている。

また、特別栽培米の具体的な推進方策については、「池田米特産化計画」を樹立し18年度から取り組みを始めた。

4. 産地づくり交付金の活用方法

■ 交付金活用の目的

- 特産そばの振興
- 作業集積による担い手育成
- 少量多品目の産地づくり
- 特別栽培米の作付推進によるブランド化

■ 具体的な使途、助成水準

○そば・大豆・菜種の作業集積助成 30,000円/10a

そば、大豆、菜種の作付を行う場合に、池田町農作業受託組合が4作業の内2作業以上を受託した場合、作業面積に対して助成する。

作業集積助成の内訳

① 耕 起	6,600円/10a
② 溝切・条播	10,500円/10a
③ 刈 取	10,500円/10a
④ 乾燥調製	2,400円/10a

○そばの団地固定化助成 40,000円/10a

そば団地を50a以上、4年間固定化し、圃場周囲に排水対策を実施した場合に助成する。

○そばの出荷奨励 8,000円/1俵(45kg)

そばをJAに出荷した場合の出荷量に応じて、出荷奨励金を支払う。

○周年栽培助成	青わら+そば	5,000円/10a
	菜種 +そば	〃

○特例作物基本助成 30,000円/10a

10a以上の水田で、野菜を3品目以内を作付けした場合に助成する。

○施設園芸作物作付助成 80,000円/10a

施設において、園芸作物を作付けした場合、施設の面積に応じて助成する。

○特別栽培米助成

無農薬無化学肥料栽培米 6,000円/10a

減農薬無化学肥料栽培米 2,000円/10a

池田町「特裁米栽培基準」に従い栽培され、「ゆうき・げんき正直農業」の認証を受けた水田に対して助成する。

○果樹・花木の植栽助成 100,000円/10a

協議会が推進する品目を植栽した場合に助成する。(16年度と17年度の植栽分については50,000円/10a)

■ 今年度の計画と実績見込み

(17年度実績をふまえた18年度計画の見直し・変更点)

特別栽培米を作付拡大を図るため、減収分の補てんとして、新たに特別栽培米の作付助成を設定した。特産のそばについては、確実な収量確保を目指すため団地の固定化や前作に景観作物として菜種の作付を推進し、排水対策の強化を図った。また、少量多品目の産地づくりを推進するため、施設における園芸作物の作付助成を設け、果樹花木の植栽については初期投資に見合う助成設定を行った。

5. ビジョンにおける取り組みと成果について

(1) 需要にもとづく作物の生産・販売

■ 売れる米づくりについて

① 18年度の目標

17年度の特別栽培米の作付拡大の伸びが鈍いため、18年度ビジョンでは更に作付面積を拡大する方向で見直した。17年度は特別栽培米を64ha作付ける計画であったが、実績は50haにとどまっている。18年度の目標としては、「生命に優しい米づくり運動」の展開により95haを作付目標とした。また、販売面においては、町やJA、農家が一体となった販売体制の確立を目指し売れる米づくりを進めた。

② 18年度の取り組みと実績・成果

平成22年までに特別栽培米の目標を達成するために「池田米特産化計画」

に基づき、総合農政協議会幹事会のメンバーと認定農業者合同の米プロジェクトチームを発足させ、生産チームと販売チームに分け検討を重ねてきた。

生産チームでは、計画に基づき、栽培基準の見直し、マニュアルづくり等を行い「生命に優しい米づくりの郷」運動を開始した。

販売面では、福井市にある池田町産マーケット「こっぼい屋」で、池田米を直売するコーナーを設置するとともに、今後の販売戦略についての検討を行った。

18年度の取り組み実績としては、特別栽培米の作付面積は91 haと目標をほぼ達成した。また、販売においては、出荷された約1,500俵を完売できる予定で、今後更に生産量を増やしても販売はできる状況にある。

③ 18年度の課題と次年度以降の方向性

生産面では集落営農組織や認定農業者を中心として、更に作付拡大を図る計画である。また品質向上対策として、きめ細かい営農指導や特別栽培米の町認証制度の仕組みづくりが課題となっている。販売面では、販路拡大を目指し農家の所得向上につなげたい。

■ 米以外の作物について

① 18年度の目標

池田町の水田は、強グライ土壌がほとんどで排水性が非常に悪く、また水田土壌の比較的浅いところが岩盤のため、深い溝が掘れず、強制的な排水対策が困難な地域である。このため、昔から池田町で栽培されており、気候が安定している夏場に播種できるそばを特産として育ててきた。

16年産のそばは、42.7 haの作付けで、約15 tの出荷量を見込んでいたが、収穫前に甚大なイノシシ被害に遭い、6.3 tの出荷に終わっている。17年産のそばは、播種時の長雨の影響を受け発芽不良や湿害により、ほとんどが消えてしまった。一部で追い播きを実施したものの32.5 haの作付けで、1.9 tの出荷に終わった。また、15年産そばが11月初旬の積雪で甚大な被害を受けたため、16年から池田町に昔から伝わる早生そばの栽培試験を始めている。10月中旬頃に収穫できるため、危険分散のためには効果的であるが、食味の点の課題があるため検討を継続する。

17年度からそば団地には管理人を設置することを要件としたが、それに加え、18年度には団地の固定化、前作として菜種の作付を推進し、圃場周辺の草刈りや電気柵の適正管理にや排水対策の強化に努めた。

②18年度の取り組みと実績・成果

取り組みとしては、産地づくり交付金を活用して、団地化や固定化、菜種との周年栽培の推進を強化した。成果として、作付面積36.1haに対して、団地化が27団地27.6ha、固定化が10団地で9.4haの取り組み実績となった。また出荷については、気候に恵まれたおかげもあり、反収が町全体の平均で30kg/10a、出荷量としては約9.1tとなり近年にない収穫に恵まれ、町内需給分はほぼまかなえる結果となった。

③18年度の課題と次年度以降の方向性

そばについては、管理体制や、排水対策を徹底することから、引き続き固定化や周年栽培を更に推進し確実な収量確保、品質向上を目指す。また、認定農業者や集落営農組織によるそば団地の経営を促進し担い手育成と水田農業の活性化を図る。

(2) 担い手の確保・育成

①18年度の目標

池田町は中山間地域であり、条件不利地の水田も多く抱えているため、集落営農組織も経営的なことを考慮すると、なかなか立ち上げることができないのが現状であった。

このため、ビジョンの中で集落営農組織を基本的な担い手として位置づけ、国の中山間直接支払制度や町単の一集落一農場制度を活用し、12年度から16年度までの5年間に7つの集落営農組織を設立した。

また、認定農業者の規模拡大を支援するため、池田町農林公社が農地の幹旋や大型機械のリース事業を実施しており、このことにより、認定農業者への農地流動化が大きく進んでいる。

しかし、集落営農の組織化を進めることで、認定農業者との農地の競合も起こっている。ビジョンにおいては、担い手リストと育成計画について実情に合わせ見直しを行い、集落営農組織の推進方策や組織と認定農業者の農地の競合についての今後の対応策の検討を行なった。

②18年度の取り組みと実績・成果

集落営農を集落全体の問題としてとらえてもらうため、国の中山間直接支払制度を傾斜地1/100まで適用し、集落営農の一層の推進を図ることとした。このため、これまであまり関心がなかった集落も、組織設立に向け研究会を立ち上げるなど動き始め、18年度には集落営農組織が新規に1つ設立された。また認定農業者との農地競合を避けるため、「担い手委託型」の集落営農を推

進するとともに、担い手を支援する「集落サポート隊」づくりを呼びかけている。

③18年度の課題と次年度以降の方向性

集落営農組織は設立したものの、その経営規模は小さく、国の経営安定対策の対象とはならない組織が多い。このため、今後は近隣集落を統合するなど規模拡大を図る必要がある。また認定農業者についても作業の効率化、コスト低減の観点から、除々に作業の共同化をすすめ、将来的には法人組織としていきたい。

(3) 特色ある地域づくり

①18年度の目標

池田町はビジョンに「環境に優しい地域資源連結循環型農業の推進」をテーマに掲げ、家庭の生ゴミを堆肥化する「食Uターン事業」や農薬や化学肥料を極力減らす「ゆうきげんき正直農業」などの環境保全型農業を推進してきた。その結果、町内の家庭の6割程度から生ゴミの搬出され、約350tの堆肥が生産され、130戸の農家が「ゆうきげんき正直農業」に取り組むようになった。

また、生産された農産物は、福井市の直売施設「こっぼい屋」に出荷されるとともに、町内に15以上ある農産物加工場で加工され出荷されている。こっぼい屋ではそれらの商品を販売し1億円以上売り上げている。

「百匠一品の特産づくり」の中で、販売を支援するため、こっぼい屋がリニューアルオープンしたが、まだまだ特徴的な商品が不足しているため、池田町の農村力を活かした付加価値の高い商品づくりを推進する必要がある。

また、少量多品目の産地づくりと農地保全の観点から、果樹・花木の植栽を一層推進する。

②18年度の取り組みと実績・成果

また、17年11月にこっぼい屋がリニューアルオープンしたことにより、米の販売の開始や厨房が完備したため総菜やおにぎりなど池田産の材料を使った食を提供できるようになった。食については、化学調味料や添加物を全く使わないこと、食材を使い切ることをモットーに取り組んでおり、安全・安心な特産品としてブランド化の向上につながった。

③18年度の課題と次年度以降の方向性

「環境に優しい地域資源連結循環型農業の推進」を基本のテーマに掲げ、家庭の生ゴミを堆肥化する「食Uターン事業」や農薬や化学肥料を極力減らす「ゆ

うきげんき正直農業」などの環境保全型農業を更に推進する。今後も最近の健康食ブームにより注目されている雑穀にも眼を向けながら、安全・安心な野菜、また少量多品目としての果樹花木の作付けを推進し、昔から伝わる農家の知恵と技を活かして、商品開発や販売の強化に取り組み百匠一品のものづくりに取り組んでいく。